

ナスバ（独立行政法人自動車事故対策機構）プレスリリース 令和5年10月26日

11月25日から12月1日は
「犯罪被害者週間」です。

ナスバ（独立行政法人自動車事故対策機構）
被害者援護部 岩本
電話 03-5608-7620

自動車事故被害者の作品展

～ ナスバギャラリー IN東京 ～

- 期間 令和5年
11月27日(月)～12月1日(金)
8:00～20:00
- 時間 ※初日(11月27日)は12:00から開催
最終日(12月1日)は13:00終了
- 場所 日本自動車会館ビル1階
(東京都港区芝大門1-1-30)

自動車事故により保護者の方が亡くなったり、重度の後遺障害を残すこととなったご家庭のお子様（交通遺児等）のコンテスト入賞作品や、自動車事故により脳や脊髄などを損傷して介護を要する重度後遺障害を負った方の創作作品の展示をする「ナスバギャラリーIN東京」を開催します。

自動車事故の被害に遭われた方々を様々な角度から支援するナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構)と、自動車業界の総合団体として広く交通安全意識の高揚を図る一般社団法人日本自動車会議所とのコラボレーション企画です。

作品を通じて被害者の現況を知り、交通事故について今一度考えていただけることを願っています。



◀交通遺児友の会書道コンテスト
最優秀賞(国土交通大臣賞)
「恵」



重い障がいを負った方の
絵画作品▶



ナスバマスコットキャラクター
『ナスバちゃん』

NASVA 独立行政法人
自動車事故対策機構 **ナスバギャラリーとは**
National Agency for Automotive Safety and Victims Aid

被害者支援と自動車事故防止に資することを目的に、自動車事故により保護者が亡くなったり、重度の後遺障害を残すこととなった家庭の子ども（交通遺児等）のコンテスト入賞作品や、自動車事故により脳や脊髄などを損傷して介護を要する重度後遺障害を負った方による創作作品等の展示を通して、同様の被害者を発生させたくないという事故防止の意識の醸成を図るために開催しています。

共催：ナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構)
03-5608-7620

共催：一般社団法人 日本自動車会議所
協賛：公益財団法人 交通遺児等育成基金
協力：株式会社 NBFオフィスマネジメント



日本自動車会館ビル 1階ロビー廊下
東京都港区芝大門1-1-30

都営三田線 御成門駅 A2またはA3出口より徒歩3分
都営浅草線・大江戸線 大門駅
A4またはA5またはA6出口より徒歩4分

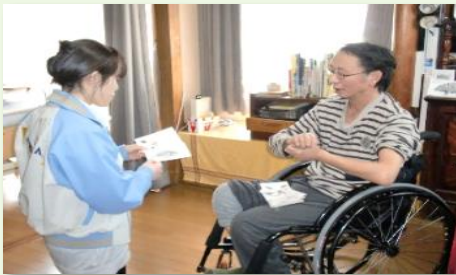
～ナスバ（独立行政法人自動車事故対策機構）被害者援護業務の紹介～

交通遺児等への無利子貸付と「友の会」



自動車事故により保護者の方が亡くなられたり、重度の後遺障害を残すこととなったご家庭（生活困窮家庭）の中学校卒業までのお子様などを対象とした**生活資金の無利子貸付**を実施しているほか、**友の会を運営**し、交通遺児等のご家族同士の交流を深めるため、もの作り体験、観劇などのレクリエーション等を実施しています。

在宅介護への支援（介護料の支給等）



自動車事故により脳や脊髄などを損傷して介護を要する重度後遺障害を負われた方に**介護料の支給**や、**訪問して情報提供など相談対応**を行っています。

脳損傷の治療と看護を行うナスバ療護施設



自動車事故により脳を損傷し、重度の意識障害が継続する状態にある方を対象に、**治療と看護**を行う専門の**ナスバ療護施設(病院)**を、全国12カ所で設置・運営しています。

相談支援を希望される方へ

ナスバ交通事故被害者ホットライン

ナスバ交通事故被害者ホットライン

0570-000738

※一部のIP電話からは 03-6853-8002 をご利用いただけます。
お困りごとの内容に応じて、**無料でご相談いただける窓口をご案内**いたします。
最寄のナスバ支所等の**連絡先もご案内**いたします。



相談支援実施団体のご案内



自動車事故に起因する悩み事の精神的負担の軽減を図るため、**同じ悩みを持つ当事者が所属する自動車事故被害者・遺族団体が、無料でご相談をお受けする窓口**を設置いたしました。